

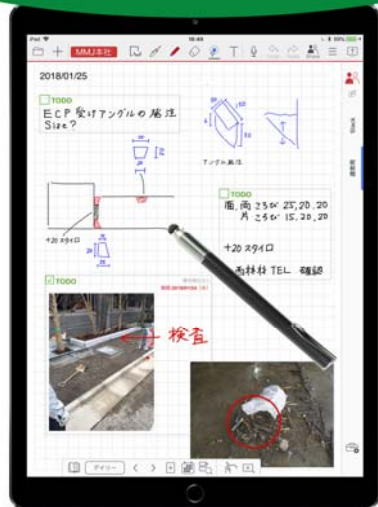
技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT 品質 (該当分類に○を付記)		
技術名称	デジタル野帳「eYACHO」	担当部署	法人事業部 第一営業部
NETIS登録番号	KT-180030-A	担当者	今西／大野
社名等	株式会社MetaMoJ	電話番号	03-5114-2912
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 本製品は株式会社大林組と共同開発されたスマートデバイス用のアプリです。人手不足が大きな課題となっている建設業界において業務の効率化は急務ですが、屋外での作業となるため現場業務のデジタル化は遅れていました。建設現場では、従来「野帳」と呼ばれる紙の手帳が使われていましたが、2012年当時、大林組ではiPadを導入しており、iPadで活用できる「野帳」の代わりになるものを作りたいと考えていました。そこで、当社と共同開発することになり、デジタル野帳「eYACHO」が生まれました。 2. 技術の内容 紙の野帳と同様の使い勝手はそのままメモやイラストを手書きできるほか、写真や動画の貼り付け、音声録音など、デジタルによる確実な記録が可能です。メモやイラストをそのままTODOとして管理する機能も搭載しています。また、帳票作成を支援する機能を搭載しており、表計算機能と組み合わせることで自動計算可能な表も作成できます。さらに、事務所と現場間など遠隔地からでも複数人が同時に書き込みリアルタイム情報共有を実現する当社だけのリアルタイム伝搬技術「Share(シェア)機能」を搭載しています。 【主な機能】 手書き／写真・動画の貼付／音声録音／帳票作成・表計算／カレンダー・TODO管理／簡易作図／PDF取込／Webページ貼付／メール送信／他アプリや外部システムとの連携／テンプレート・アイテム／ツールボックス、UIカスタマイズなど 3. 技術の効果 デジタルの特性を活かし、写真や動画、音声録音等で現場の状況を確実・詳細に記録することが可能です。デジタルなので、検索により必要な情報をすばやく取り出せるほか、紙と異なりデータの劣化や紛失等のリスクも低減します。帳票作成支援機能により、検査報告書、是正指示書、出面表をはじめ各種書類を現場で作成することが可能となり、持ち帰り業務が減ることで大幅な時短を実現します。さらに、「Share(シェア)機能」により、円滑で迅速な意思疎通と情報連携が可能となり、チームの組織力が向上します。 4. 技術の適用範囲 対応OS:iOS 8以降、Windows 10 バージョン 1703(Creators Update)以降 対応デバイス: iPadシリーズ Air、Air2、Pro以降 iPhoneシリーズ 6/6 Plus、6s、6sPlus、SE以降 iPad miniシリーズ 3、4以降 Windowsタブレット 5. 活用実績 国の機関 0 件（九州 0件 、九州以外 0件 ） 自治体 0 件（九州 0件 、九州以外 0件 ） 民 間 約 250 件（九州 7件 、九州以外 240件 ）		

6. 写真・図・表

紙とペンのように自由自在に書ける



現場の運用に合わせた帳票を簡単に作成



自動計算可能な測量テンプレートも標準搭載!



現場でデータ入力が可能



eYACHOの導入によりワークスタイルが大きく変化



大半の業務をeYACHO上で遂行可能



外部データ連携

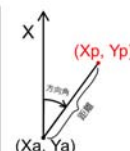
逆トラバース (放射)

箇所 阿瀬谷 T地点
日付 2017/05/30 天気 晴れ

基準点	X座標 (m)	Y座標 (m)	距離 (m)
後照 T-1	100.000	100.000	86.200
前照 T-2	86.200	135.690	

座標計算

入力	結果
基準点 Xa	781.452
基準点 Ya	248.199
方向角(度)	105
(分)	18
(秒)	32.0
距離	56.300



水準測量 (器高式)

箇所 阿瀬谷区間 A-12
日付 2017/05/30 天気 晴れ

点	BS(後照) (m)	IS(器高) (m)	FS(前照) (m)	GH(地面高) (m)	PH(計測高) (m)	差
BM1	1.250	23.250				
No.1 机			1.435	21.815		
No.2 机			1.072	22.178		
			1.265	21.985		
			20.860	20.875	15	
			2.235	21.044		

自動計算可能な土木向けテンプレートを多数搭載